

みなさんが協力してくれているエコチル調査でわかったことを紹介していきます!

今回のテーマは、**石けん**と**アトピー性皮膚炎**です。

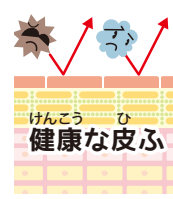
アトピー性皮膚炎って?

顔や体にかゆみのあるしっしんができて、「良くなったり悪くなったり」をくり返す病気だよ。

アトピー性皮膚炎ではこんなことが起きているんだ。

バリアの働きが弱くなる

かゆみを引き起こす物質が皮膚から入りやすくなる



炎しよう

かゆみを感じやすくなる



ストレス?

空気乾燥?

花粉? ホコリ? ダニ?

汗? よこれ?

体調?

かゆいところをかきむしると、もっとかゆみが強くなってしまふんだよ。

アトピー性皮膚炎の原因はよくわかっていないんだ。

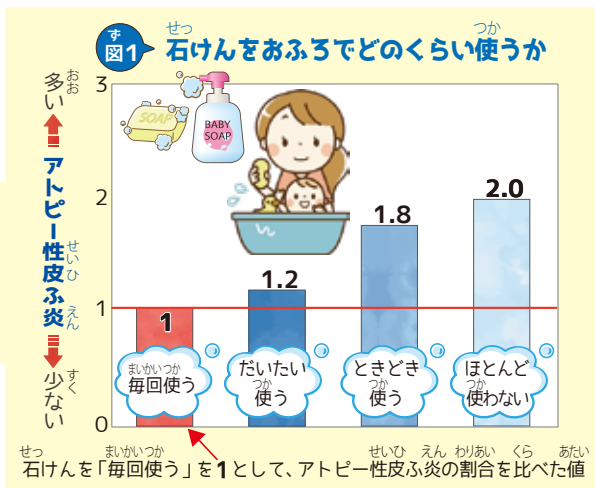
人によって違うけど、いろいろなことが重なって起こるんだって。

おふろで石けんを使わないこともアトピー性皮膚炎に関係するかも?

エコチル調査では、「おふろで石けんをどのくらい使うか」とアトピー性皮膚炎の子どもの数について調べたよ。

1歳半ごろ、おふろで石けんを「毎回使う」子どもたちと比べて、「ときどき使う」「ほとんど使わない」子どもたちは、3歳までにアトピー性皮膚炎がある子どもが多いことがわかったんだ。

石けんではだをきれいにするのが、アトピー性皮膚炎の予防に役立っているのかもしれないね。



皮膚にはいろいろな細菌がいる

皮膚にはたくさんの細菌がいるよ。皮膚を守ってくれる「良い細菌」も炎しようを起こす「悪い細菌」もいるんだ。石けんを使うと悪い細菌を減らすことができるよ。

でも、石けんを使いすぎたりゴシゴシ強くこすったりすると、良い細菌まで減ってしまうので気をつけよう。石けんには体に合わない成分が入っていることがあるので、どんな石けんを使ったら良いか考えてみよう。

この研究結果は次の論文から引用しました。

題名 Association of soap use when bathing 18-month-old infants with the prevalence of allergic diseases at age 3 years: The Japan Environment and Children's Study
著者 加藤泰輔ほか (富山大学) 雑誌名 Pediatric Allergy and Immunology (2023年)